

理念  
支えあい・分かち合い



藤井脳神経外科病院  
〒329-1105 栃木県宇都宮市中岡本町 461-1  
電話：028-673-6211 (代)  
FAX：028-673-2115  
E-Mail：fujiihp@apricot.ocn.ne.jp  
ホームページ：http://www.fujiihp.or.jp/



藤井脳神経外科病院

地域連携ニュース

2024年4月号

## 診療時間

○ 診察可 × 休診

診療時間		月	火	水	木	金	土
9:00～12:00 (受付 8:30～11:30)	初診	○	○	○	○	○	○
	再診	○	○	○	○	○	○
14:00～17:30 (受付 13:30～16:30)	初診	○	○	×	○	○	×
	再診	○	○	×	○	○	×
休診		水曜日・土曜日の午後、日曜日、祝日 *急患は24時間対応します。					

## 外来担当表

	月	火	水	木	金	土
午前	鈴木 博子	國峯 英男	鈴木 康隆	藤井 卓	國峯 英男	* 坂本 和也 (隔週)
	田中 裕一	鈴木 康隆	田中 裕一	鈴木 博子	田中 裕一	* 滑川 道人 (神経内科)
	* 坂本 和也	田中 裕一	* 自治医大 (てんかん外来)	西田 舞 (内科)	交代制	交代制
	* 交代制		交代制	* 大橋 康弘		* 交代制
午後	田中 裕一	鈴木 博子 (頭痛外来)	休診	田中 裕一	鈴木 博子	休診
	* 交代制	西田 舞 (内科)		* 獨協医大	交代制	
		* 獨協医大				

上記の担当は、都合により変更となることがあります。

\* 非常勤医師

寒さで開花が遅れていた桜の季節もあっという間に過ぎ、すでに新緑の候となりました。半年ほどかかった当院の外壁や屋根の改装工事もやっと終わり、屋根はレンガ色から緑へと衣替えを致しました。開院36年目を迎え、職員一同新たな気持ちで地域医療への取り組みを図っております。

今回は、主として未破裂の脳動脈瘤治療について、院長の鈴木康隆が担当し、記載いたしました。脳ドックなどによる未破裂脳動脈瘤の発見や治療が多く行われるようになり、くも膜下出血後の脳動脈瘤治療の件数は減少を辿る傾向にあります。治療にしても、開頭手術のほかにコイル塞栓という血管内治療も多くなり、またその内容も進化を遂げています。脳神経外科診療の代表例の一つでもある未破裂脳動脈瘤治療の現状をお届けいたします。日常診療のご参考になれば幸いです。

理事長 藤井 卓

## ● 事務長よりご挨拶

昨年末から続いておりました外壁工事が完了し、患者さんやご来院された方々にご不便をお掛けしました。ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。

屋根・外装共に一新し、新入職員の入職と共に新鮮な気持ちで4月からのスタートを迎えることができました。

能登半島地震や新興感染症など未だ安心できない情勢が続いている中、医療機関としても大きな転換期である6月からの診療報酬改定で医療環境が大きく変化していくと思われまます。

専門病院である自院の役割を踏まえ、理念である「支えあい」・「分かち合い」の医療を急性期から慢性期まで継続しつつ、今後は予防医療の観点でも地域医療に貢献できるよう職員一丸となって実践していければと思っております。全ての世代において身近な医療機関であることをモットーにしておりますので、脳疾患等でお困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。

事務長 中野 哲





## 脳神経外科医療のトピックス (28)



### 予防医療について

院長 鈴木 康隆

#### ● はじめに

以前にも地域連携ニュースの記事に脳動脈瘤を取り上げました。脳卒中ガイドライン 2021 が新たに出たこともあり、今回は脳ドックにて見つかる脳外科疾患の代表例として脳動脈瘤について再度記載したいと思います。

#### ● 脳動脈瘤とは

脳動脈瘤はしばしば脳ドックにて指摘される疾患であり、決してまれではありません。大きさを問わなければ一般成人の2～6%くらいは未破裂脳動脈瘤を有すると考えられています。

脳動脈瘤が破裂した場合にはクモ膜下出血といわれる状態となり、生命を左右する状態になりかねません。また破裂を来した脳動脈瘤については基本的には選択の余地がなく再破裂予防の治療が必要となります。では脳ドックなどで未破裂の状態で見発見された場合にはどのような対応が必要となるかについて説明をしたいと思います。



#### ● 脳動脈瘤の原因

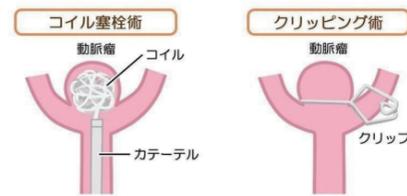
脳動脈瘤の発生には遺伝的な要因と環境による要因があることが分かっています。このため家族や親族内に脳動脈瘤の方がおられると発症のリスクが高くなります。また環境要因としてはこれまでのデータで喫煙、高血圧、大量飲酒があることが知られています。ただし原因はまだ不明なことも多く、これらの要因がなくても発症する方がいることが知られています。

#### ● 脳動脈瘤の予後

まず脳動脈瘤の出血率は全体でいうとそこまで高いものではありません。2012年のUCAS Japanの報告では全体の年間破裂率は0.95%でありました（これは100人の動脈瘤の患者さんのうち0.95人が1年間で破裂するということです）。また動脈瘤の大きさにより年間破裂率に差があり、サイズが3～4mmで0.36%、5～6mmで0.5%、7～9mmで1.69%、10～24mmで4.37%、25mm以上で33.4%とされています。

脳卒中治療ガイドライン 2021 では下記の特徴を有する病変はより破裂の危険性が高いため、治療を含めた慎重な検討をすることが勧められています。

- ① 大きさが5～7mm以上の未破裂脳動脈瘤
- ② 大きさが5mm未満である場合には
  - A) 症候性の脳動脈瘤
  - B) 前交通動脈、内頸動脈—後交通動脈分岐部などにある脳動脈瘤
  - C) Dome neck aspect（頸部と動脈瘤本体の大きさの比）が大きい、不整形・ブレブを有するなど形態的特徴をもつ脳動脈瘤



#### ● 脳動脈瘤の経過観察

治療を行わずに経過観察する場合は1年程度の経過でMRAもしくは3DCTAにより画像フォローを行うことが勧められます。特にサイズが大きいもの、部位が後方循環にあるもの、ブレブを有するもの、60歳以上の高齢者、クモ膜下出血の既往ある患者については注意して観察が必要とされています。

またこの間の破裂リスクは存在しますが、もし形状やサイズに変化があった場合にはその時点で治療の相談をすることになります。

#### ● 脳動脈瘤の治療

##### ① 開頭クリッピング術

長い歴史のある治療法であり、血管内治療によるコイル塞栓術が発達している現在でも確実に再破裂を予防する効果のある治療法です。皮膚を切開して頭蓋骨の一部を開放し、脳表から脳裂を分けて脳動脈瘤本体に到達し、動脈瘤の頸部に直接クリップをかけて動脈瘤内への血流を遮断する方法です。患者さんへの侵襲は血管内治療と比較するとやはり高くなりますが、この治療法により良好な結果が期待出来る脳動脈瘤もあります。また脳動脈に対するバイパス手技が併用出来るのもこの治療の強みです。

##### ② 脳血管内治療

大腿鼠径部より挿入したカテーテルをレントゲンを見ながら操作し、カテーテルの先端を脳動脈瘤内に誘導してカテーテルから動脈瘤内にプラチナ製のコイルを充填することで動脈瘤内の血流を遮断する方法です。開頭手術に比べて身体の負担が少ないことが特徴です。ただし動脈瘤内に充填したプラチナが時間とともに縮小したり、位置が変化したりすることがあり、術後の再発のリスクがあります。このため詳しい検査を定期的に行ったり、再治療が必要となることもあります。開頭手術では到達困難な場所の治療も可能であり、現在はフローダイバータースtentと言われる新しい動脈瘤治療用のstentも使用されるようになってきており、今後はさらなる治療成績の改善が見込める治療法でもあります。

※積極的治療を選択した場合には上記の①開頭クリッピング術か②脳血管内治療のどちらかを選択することになります。ただしこれらの治療は脳動脈瘤の部位、形、大きさ、全身状態、年齢等を考慮して当院として一番リスクが低くかつ予防効果が高い方法をお勧めしております。このためもし患者さんが希望する治療と当院でお勧めする治療が異なる場合には、それぞれの治療の利点と欠点を説明し最終的に相談して決定することとなります。

#### ● 最後に

脳動脈瘤はメガデータによる新たな統計報告や、カテーテルやコイルなどのデバイスの進歩により治療適応や治療法が目まぐるしく変化している分野でもあります。前回の地域連携ニュース記載時から比較してもガイドラインや治療法などすでに変化しているものもあります。当院では開頭手術と血管内治療について症例毎に検討し最適な治療法を選択して患者さんに提示しております。一概に未破裂脳動脈瘤と言っても、診断と治療適応が難しい症例もありますので、確定診断ではなく疑いでも結構です。もし気になる患者さんがおられましたら、いつでもご紹介をよろしくお願いいたします。



**市民健康講座**  
 当日無料OK  
**脳の健康について、考えてみませんか？**  
 参加費 無料  
 日時 令和6年6月1日(土) 14:00～15:30  
 場所 河内総合福祉センター  
 河内市河内町285 (TEL: 028-673-6453)  
 開催のご講師: 藤井脳神経外科病院 院長 鈴木 康隆 先生  
**「脳の健康とは？」**  
 ～当院の脳ドックについて～  
 藤井脳神経外科病院 副院長 鈴木 博子 先生  
 リハビリテーション部門による脳の健康維持の指導もあります！  
 お問い合わせ 医療法人社団 藤井脳神経外科病院 028-673-6211  
 川柳 藤井脳神経外科病院(株)・(有)株式会社

### お知らせ

市民公開講座を行います  
 テーマ『脳の健康について考えてみませんか？』  
 日時：2024年6月1日(土) 14:00～15:30  
 会場：河内総合福祉センター